

栄八通信

第 14 号



武雄市議会議員
宮本栄八
発行 武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,280部

147 10 月末発行

決定 国立武雄病院をH12年2月 「市立武雄病院」として開設。 そこで、何がどう変わる？

年3億円赤字が↓年5千万円の赤字計画へ

石井市長時代の 市立化への動き

平成九年一月号に国立武雄病院問題の特集をしたが、その時の武雄市の状況を改めて整理するとH七年に(株)病院管理研究協会(コンサルタント)に計画を作らせた。十年後には、三千万円の赤字になることとされた。

H八年二月、そこで市内各種団体で作る、地域医療審議会が市立化して整備すべきとの答申。

その後、H八年四月市内プロジェクトが、改築・解体や駐車場などの周辺整備等も詳細に計画したら、十年後には、三億円の赤字になることとされた。H八年十一月に提出した。市議等は、三千万円の黒字計画が三億円の赤字計画に変わり、病院の市立化に慎重な態度であることまで伝えていたと思う。

そこで、再度、佐賀医大等の医療専門家に、アドバイスを受けて新たに、プロジェクト案の再検討を行うこととなり、石井市長は、H十一年の開業を目指していたが、任期中には結論を得られなかった。

古庄市長就任後の 市立化への動き

古庄市長は、市立病院問題について、「市民の福祉・医療・保健の多面的見地から再検討する。」「隣接自治体や医師会、民間との共同運営、老人保健施設機能も持たせるなど選択肢を広げる」

「市民・各種団体と協議する」の選挙公約や当選後の新聞報道にも新市長の方針が明示されていた。就任して、初の四月議会でも、

選択肢を広げて検討したいとの発言であり、さらに六月議会では、「現在、収支の見込みを詰めていく。まだ市立病院として引き受けるとは申し上げてない」との答弁であったので、私は、古庄市長はお盆ぐらいにある、国の来年度予算査定という国のペースでなく市民の方を向いてじっくり話し合いを進めてもらっていると期待した。

しかしながら、選挙公約である、市民や各種団体への内容の説明は一度もされず。七月二十一・二十二日に長雨災害復旧の補正予算に便乗して臨時議会が開かれた。

実質市立化が決まった 七月臨時議会

私は、市長の言う、武雄病院の広域化・医師会等との共同運営や福祉保健との機能分担が十分に整理された時点で決断があるものと思っていた。結果的には庁内プロジェクトの最新案が渡されて、一週間余りで七月の臨時議会の召集。十分に新案を理解していないのに議員としての決断をせまられることに納得はいかなかったが、議会の召集権は市長にあり、しかたがない。

ところで、七月臨時議会は二日間の予定だったが、一日目、私や大坪・平野氏等は質疑したが、やはり、文教委員でない人はほとんど新プロジェクト案の内容を把握していない人はなく、全員での特別委員会を作って、(結局、議場でなく、職員給与など非公開の委員会の形で、担当職員も加え、詳しく聞きたい)質疑応答がされた。

最初は、市長の出張の関係で質疑を早く切り上げようとの動きだったが、徹底論議すべきとの議員も多く、市長の上京中も延々二日間を渡り、くたくたになるまで、問題の質問があり、結局、四日間の審議となり、賛成多数で可決した。私も賛成したのだが、理由は、

「三百六十五日、二十四時間受け、CT撮影ができて、七年目から黒字になる。また、市が病院に支出する約二億円も、国の交付税で補填され、年平均赤字が五千万円。」ならちやもうえない。

どう変わる？ 医療の内容 施設 収支

市民病院の将来予測

三回の計画で色々変化したが、市民の方が混乱されないように、現在の国立と市内プロジェクトの最終案と比較して表にしました。(黒字の出る七年目の状況を記す。)

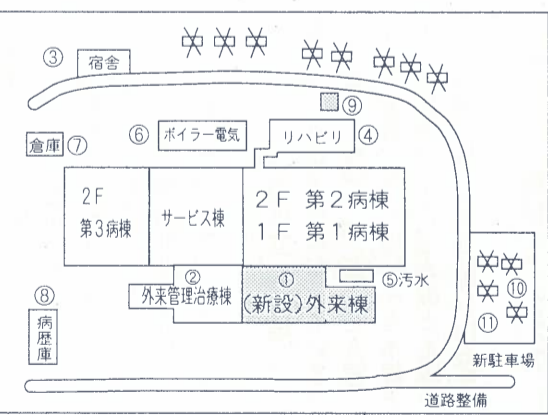
国立武雄病院(H8)		武雄市民病院(予定)	
一般 105	結核 55	一般 135	結核 20
内科・外科・理学(3科)	診療科目	内科・外科・理学(5科) 整形外科・小児科	
慢性疾患型	病院の性格	急性期型	
夜 医師1名(内科) 24時間医師	診療時間	夜 医師2名(内科) 24時間医師	
103 (医師8 看護54 技師9)	職員数	115 (医師14 看護70 技師14)	
入院103人 外来106人	1日平均患者数	入院132人 外来240人	
入院 18,620円 外来 9,575円	1日平均診療単価	入院 22,391円 外来 8,934円	
943,793千円	年 医業収入	① 1,631,605千円	
(入院 691 外来 251 百万円)		(入院 1,078 外来 547 百万円)	
1,221,017千円	年 医業費用	② 1,650,029千円	
(人件 807 材料 296 経費 117 百万円)		(人件 932 材料 520 経費 122 百万円)	
△ 277,224千円	収 支	△ 18,424千円	

③左の収支比較は、補助金や建物の償却は入っていない。

国から現施設購入費 6億円 + 施設整備 15億円 || 初期投資総額 21億円

市民病院施設整備内容

- ① 外来管理治療の増築(約五億)(診療室・手術室・検査室・救急処置室等を、表に新規に建設する)
- ② 現在の外来棟の防水・外壁工事
- ③ 職員宿舎の新築工事(一戸建を二戸、集合住宅一戸)
- ④ リハビリ棟の防水・外壁工事
- ⑤ 汚水処理の大型化工事
- ⑥ ボイラー・電気棟の屋根・壁工事
- ⑦ 倉庫の改修工事
- ⑧ 病歴書庫の改修工事
- ⑨ 公用車庫の新築工事
- ⑩ 解体工事(職員、看護婦宿舎)
- ⑪ 駐車場工事(用地購入・整備)
- ⑫ その他(備品購入・計画書等)
- ⑬ 既存の医療機器の買い替え
- ⑭ 新たな医療機器の購入(CT等)



1 H12	△ 57,213
2 H13	△ 352,679
3 H14	△ 144,507
4 H15	△ 60,142
5 H16	△ 20,701
6 H17	△ 4,374
7 H18	4,806
8 H19	18,460
9 H20	35,831
10 H21	16,999
合計	△ 563,520

新生武雄市民病院の概要を整理すると

医療内容については、新生の武雄市民病院は、救急対応の三六五日、二十四時間開いていて、整形外科と小児科が追加され、夜間も内科系と外科系の医師が二人常駐(普通は一人が多い)して、CT診断も常時でき、初期治療または専門病院への転送も即可能と言う。

施設については、新外来管理治療棟を入り口正面にイメージを一新するように建設し、駐車台数を現在の百六十台を、あと百台分を整備し、二百六十台にする。さらに、⑩の方面の東側道路甘久方面を拡幅する計画と言う。

収支については、七年目のH一八年からは黒字に転ずるものの、十年間の赤字は、五億六千三百万円で年平均すれば約五千万円。ちなみにH一八年は上左図のように黒字になるが、上右図の医業収入①に補助金などの医業外収入を加えると二億八千八百万円になり、また、医業費用②に退職金・減価償却費・利息等の医業外費用と合わせ一億三百八十万六千円となり、その差が、黒字四百八十万円となる。

一方、前案の年三億円の赤字の計画との主な変化は、入院患者を、一日九十五人から百三十五人に修正し、十五億円から十八億円に収入増加したこと。また、初期投資の改築単価の見直しや、宿舎新築を最低限にして、施設整備費用を十五億円に圧縮し、現施設を国から買う六億円と合せ総額を二十九億円から二十一億円に変更したのが、収支改善の原因と思う。

また、不採算として、考えていた結核病床についても、一般病床との共通看護体制が取れるようになり採算は向上した。

市民病院の問題点を確認する

選挙公約違反でないのか？

市長は、病院問題は、市民や各種団体と協議するとの公約であり、実際、臨時議会前に、それらは開かれていない。私が、七月臨時議会の時たずねたが、市長は、「医療関係者とは話した」と答弁され、それが、各種団体だという自分に都合の良い解釈をされた。しかし私は、明らかに違反と思う。

急性期型病院に変わる問題？

現在の武雄病院は、多くの市内の老人慢性疾患や老健施設のない武雄市の社会的・過渡的入院の受け皿としての役割りは重要だ。今回、市民要望の多い救急や二次医療を中心とする急性期型に変わるわけだが、来々、花島に完成予定の老健施設や、民間の医院が「療養型病床群」という老人等の長期入院に対応するように今後なると思うので、その辺で、どうか、現在の患者さんの対応は可能では。また、私が老健の早期建設を主張した理由でもある。

医師会との関係が不仲では？

市と医師会とは腹を割った話し合いは、もたれていない。当然、市が病院の経営者となれば、同じライバルになる所もあるわけで、それなりの、意義なり担う部分なりに分話し合う必要がある。しかし、聞く所によれば、古庄氏は選挙時期に、市立化については、「白紙状態だ」と答えられたとも聞き、本格的説明も、市立化の新聞報道後にあったと聞く。議員からも毎回、医師会との関係の質問が

あり、市長は「今後話し合いをして行く」と毎回の答弁。

診療科目の増加への考えは？

武雄市の言う総合的病院にするには、診療科目を増して行く必要があると思われるが、市長は、診療科目増加問題については、「今後、医師会と話し合いながら検討して行く」との発言があった。 (大町町立の内耳鼻の三科が最低で、西有田共立は十四科ある)

収入見込みは、妥当なのか？

診療科目	来		入		ベット数
	人数	単価(円)	人数	単価(円)	
内・外・整・小	240	8,846	132	22,169	135
内・外・整・耳	337	6,807	88	22,243	105
内・外・整・小・産・脳・循等	286	9,134	160	21,652	192
内・外・小・放・胃・呼・循	197	9,094	63	21,620	71
内・外・耳	271	6,678	49	21,948	70
内・小・整・歯	230	5,312	38	13,031	61
内・外・理	106	6,622	79	17,153	98
内・外・小・産	286	7,483	90	20,575	99
内・小・整・耳	185	6,852	52	14,193	55

ここで、まず説明しておくが、日十二年二月より、新生武雄市民病院になると言うものの、実際は、国から購入してその後一年間かけて改築するわけで、収入が安定するのに七年間かかる想定だ。ただ、一年目の日十一年度は二月・三月の二ヶ月であるので注意

★入院について

は、ベッド数一三五床×八五%。一人当単価は、近臨、同規模の五院の平均に、将来の伸びを加えた。★外来について一日当の患者数は、ベッド数一三五床×一・五倍。一人の単価は、近臨、同規模の五病院から、単価の低い耳鼻科をもつ二病院を除く、三病院の平均。(注八五%や、一・五倍は通説といふ。●は、現在赤字病院)

今後の市の段取りは

今、九月議会の補正予算で、再度、市立病院整備計画書を一千万円で発注する。議員からは何回も発注しているのは問題だとの指摘があったが、より詳細な運営計画や財政計画を作る。発注先は、武雄より一足早に市立化する、島根県大田市の計画書を作った会社と言う。

私が現在思うこと

古庄市長の、選挙公約違反や医師会との行い違いについては、市長自身が、解決や次の選挙で審判を受けられるとして、やはり、救急・総合・最新の医療を求めるのなら、ある程度の出費はあっても、市立化でやもう得まい。

◎市民ニーズはある

資が必要だし、本代や人件費で、病院と当五千万円程度の毎年の出費が必要だと思ふ。そこで、市民に、病院と図書館のどちらが必要かと思うかのアンケートを取れば、病院の方が多いと想像する。

◎二次医療に専念すべき

ただ、これから注意しなければいけないのは、これまで、国立武雄病院は、市の老人を中心とした、慢性型の内科と外科の部分のニ

ズを受けもっていた。

だから、軽度の急性期型の患者のニーズは町の開業医が答えているので、同期模の人口の鹿島市は二十床以下の医院が、十七ヶ所なのに、武雄は三十ヶ所以上も林立しているわけで、武雄病院が市立化して、急性期型に変わることは開業医にとっては、環境の急変であり反発があつて当然だと思ふ。ただ、町の開業医とは、根本的に違うのは、二次医療と言って、手術など高度医療を目的としていることで、愛媛県の大州市民病院に視察に行ったが、診療科目は武雄市の倍の十科目だが、開業医等の一次から受けて、一次に帰す形が確立され、一次の医院との協力体制ができていた。

◎医療ビッグバンに委託で対応を

一方、市民病院問題の根本は、自民党政府と厚生省が、数兆円にもなる医療赤字を解消する為に、三次の高度医療以外からは手を引き、また現在の国立病院も運営を独立行政法人というのを作り、国からの切り離しを測っているなど、日本の医療制度の変革の流れの中にある。



病院ビッグバン新聞記事

武雄が市立化する、日十二年には医療ビッグバンがあり、ベットの規制がなくなったり、また、介護保険の導入などで、医療や福祉に直接、自治体が経営する必要がなくなる可能性もある。そこでお叱りを受けるかもしれないが、私は変革期に、市立化で、途中解雇のできない市職員を多数雇用するより、市立で、運営を医師会等に民間委託できないのかをさぐる必要があると思ふ。

杵藤クリーンセンター漏水修理予定

日元年に開設し、焼えるゴミは、

①焼却施設で焼き、灰を飛散しないように、セメントを加え、パチンコ玉程度の固化灰にして埋立。粗大ゴミや家電品や缶・ビン類は、②粗大ゴミ処理施設で、いっしょに粉砕されて、ベルトコンベアーで、①の焼却施設で焼かれ、鉄分を磁石で取って、さらさらで埋立。

よって、③の埋立処分場は、目の荒い砂場の様になっている。そこは、Y字型で、左上をA線、右上をB線、下の広い所を本線とよんでいて、現在、A線と本線の半分程度が埋って、B線は何も埋っていない。

処分場は、側面は、ゴムシート張り、底部は、アスファルト舗装で、木の枝の様に、穴のあいた汚水排水管が下の水処理施設までつながっていて、処理水は、焼却施設の冷却水に使うようになっていた。ただ、漏水問題が起きるまでは、塩分で機械が悪くならないように、それを使わず、井戸水を使っていたと言う。

ところで、本線だが、図Bのように、処分場の汚水(貯留水)がアスファルトか、ゴムシートから下に漏水し、地下水管に入り、地下水を利用する農用水路に白い物質が付着して問題が解った。現在、県より、漏水原因が確認

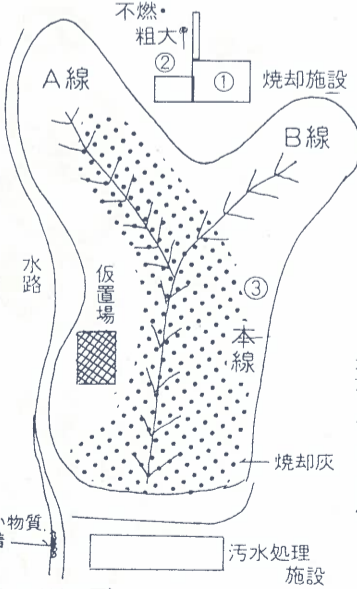
できるまで、埋立ててはいけないうこと、ゴムシートの高段に囲を作った仮置場に現在の灰を入れてる。

ところで、今後の埋立処分場の修理のスケジュールを知らせると、まずは、漏水原因箇所の発見で、1. 貯留水をまず排除するために二千トン海洋投棄した。2. A線下の◎の地点の地下水を調査したら汚染がなかったの◎地点にダムのように仕切を作って、A線に本線の処分土を全部入れて、本線の漏水調査。

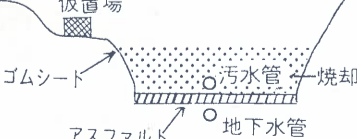
3. 原因調査が済んだら、補修や改修の方法を決め、改良する。4. A線から本線に、また、埋立土を全部移動し、A線部分を改良する。5. 次に、空のB線を改良する。以上手順だが、私はなぜ、本線の埋立て土をA線に移し、また全部本線に返すのか?二度手間だ。空のB線を改良し、そこに集め、本線を改良したが良いと主張。しかし、広域圏は、まず、本線の原因を発見し、改良方法を決めて、本線改良後A・Bと進めるとのことだが、結局、アスファルト部とゴム部しかないのだから、私は空のB線をまず、水浸透の少ないコンクリートと、側面にゴムシートを二重張りして改修し、そして、本線の灰をB線に入れて、本線を調査すべきと思ふ。

クリーンセンター概略図

図A(見取り図)



図B(断面図)



9月定例議会 9/22~9/24

私の一般質問

1 介護保険に伴う施設整備は大丈夫

単なる先送りではなく本気で着実な整備を

市のゴールドプランには、デイサービスの拠点を中学校区に各一ヶ所の計三ヶ所を計画してある。そして、その一ヶ所は、「総合福祉保健センター」であった。しかし、六月議会では、日十二年度からの介護保険の計画を、日十一年度秋には、県も市も作るのをそれを待って整備を考えると言う主旨の答えで、もっともの様にも聞こえる。しかし、日三年に、「老人のニーズ調査」をして、日六年から日十一年までに整備すべき目標としたのがゴールドプランではなかったか。鹿島市は、今年の二月に三ヶ所目を開設し一応目標達成しているし、佐賀市も目標九ヶ所の内に現在六ヶ所整備で、日十一年度には、残り三ヶ所をラストスパイトで整備すると言う。一方、武雄市は、御船庄一ヶ所しかなく、それも、ゴールドプラン策定前に開設されていて、武雄市のゴールドプランは、あつてなき状態ではないか? せめて、ディサービス

の拠点、残り二ヶ所の内、一ヶ所ぐらいいは日十一年度までに頑張って整備すべき。日十二年度は、市民病院の開費出費があり、整備が後年にずれ、保険料払って、サービス無しでは?

【回答主旨】
改めて、日十二年度の介護保険に伴う、県・市の計画を見て判断するとの答弁。

2 社会福祉協議会の将来像は?

古庄市長(会長)の明確な舵取りと行動を

市長は、社会福祉協議会の会長を兼任されている。これまで、福祉事業は、社協が中心であった。しかし、障害者・児童・老人福祉のうち、老人に関する部分は介護保険の導入で、JAや大手企業と同じ土俵で、措置からサービス事業者として競走するような、大転換期にある。

たとえば、鹿島市の例では、二年前に、二十四時間ホームヘルプサービスと老人給食宅配の実施に伴い当時の社協の体勢では対応できないと、逆に社協のヘルパーや入浴サービスの人員は、退職し、他の福祉施設に移り、一時縮小した。

しかし、日九年に、自費で、「鹿島市社協の発展・強化計画」を策定し、事業型の社協として方針を定め、日十年には、社協が経営する、鹿島市西部地区ディサービスセンター「吹上荘」を建設し、ディサービス三本柱の一本を担っている。また、介護サービスは深入りしない、市の委託事業を中心とする市も多い。ただ一番心配されるのが中途半端な形で対応を

し、不採算になり、介護以外の事業まで悪影響を受けることである。そこで、古庄市長(会長)は①武雄市社協の将来像をどう描くのか、また②鹿島市社協の様に、会長を市長が兼任せず、民間の会長が専念する方が良くないか。

【回答主旨】
①武雄市社協も事業型社協に進む。②県内七市の内、市長の兼任は武雄だけで、今後民間にお願いする。

3 環境問題(ゴミ資源)への市の方針は?

①缶・ビン等の資源化はいつ

武雄市は、リサイクル法に伴う、ビン・カン・ペットボトルの分別収集を日八年末に、日十二年四月から実施すると約束した。当時、できない理由を一時集積所がないと言われ、六月議会の他議員の質問でも同じ理由なのは、丸一年以上も何をしていたのか?

【回答主旨】
現在、若木地区に土地を確保の目途があった。しかし、設備は日十一年度の補助金を利用したいので、その後になる。

【解説】
現在、藤津郡(鹿島・嬉野・太良・塩田)は、カン・ビン類は、資源化実施中だが施設には余り金がかけていない。武雄市は、急いで用地取得、造成や補助金まで利用して大々的にするなら、むしろ、市長が管理者である、クリーンセンターの方で、未分別の杵島郡の

各町やペットボトル圧縮機をもたない藤津郡の自治体と合同での建設も、市長の重要な方針選択だ。②事業所等の資源回収率上昇へ平日回収も必要では?

資源物は、地区ごとに第三日曜日に午前中に行われているが、銀行等の日曜日に営業しない店舗は普通、日曜出勤までして持って行けないのでは、現に市役所は地区回収に出さず平日回収である。そこから見ても、年に何回かの平日の回収日設定が必要と思う。企業にアンケートでも取って要望が多ければ、実施した方が、資源物がゴミ化せず回収率が上がると思う。

【回答主旨】
企業と所在地の区長さんと話し合って、回収日前のもちこみ保管も可能では。平日回収は現在では考えていない。

③スーパー等の一般廃棄物は投入料を取るべきだ!

某大手スーパーは、数ヶ月前までは、店から出る大量の生ゴミ類を独自に処理業者に委託していたが、最近では、武雄市指定収集業者に特別収集方式で杵藤クリーンセンターに持ちこんでいると聞く。

本来、自治体が行なうのは、家庭搬出のゴミである。しかし、規模が小さく、ゴミ袋で出せるぐらいの商店はやもうえないが、大量に出る分については、一定の線引きが必要だ。現在、大量に出す所については、指定業者が、直接トラックで収集する特別収集は一ト当たり五千円である。一方、家庭ゴミ袋は、一枚四十円で五区入るとすれば、一ト当たり八千円になるわけで、本来持ちこんでいけない事業系一般廃棄物の方が安くなるのは、さらに問題がある。

鹿島の場合、事業系ゴミは業者の収る収集料(ト当たり六千円)と別にクリーンセンター投入料(ト

当り二千円)を市が徴収している。武雄市も、その辺の整理が必要【回答主旨】
現在の料金設定も、かなり以前のものであり、今後検討したい。

④給食・牛乳パックの資源化を

武雄市の給食の牛乳パックは、業者さんに持って帰ってもらってると以前説明を受け、メーカーに帰ってリサイクルされているものと思っていた。しかし、集めたパックは、業者の方が自費で焼却していると聞く。ならば、鹿島市のように、学校で環境教育の一貫として、資源化に取り組んだ方が良いのではないか?

【回答主旨】
鹿島市は、全学校、伊万里市は各学校の判断で実施されている。唐津市は、牛乳ビンで対応しているが、武雄市は、今後検討する。

⑤広報公聴の推進

古庄市長の公約は、対話と広聴である。ふれあい市長室も、毎月各町で実施されている。やはり、各町とも若者や女性に少ないので、それを補なう意味において、以前、市報にも実施すると書かれていた市民アンケート調査を早く実施すべきだ。また、まず、市の各部・課・係が、現在何をどうしているかを知らせないと正しい意見が出せない。⑥武雄テレビの市役所だより「各課からのお知らせ」で、動画を利用し各課の事業を紹介すべき。

【回答主旨】
市民アンケートは、第四次総合計画も近いので実施する。⑦一時期、商工観光がやっていたが現在やっていないので、今後、実施する。

⑥人事についての市の考え方

最近、人事の問題で三点の疑問をもっている。

①部長制導入後、人事移動が激しく、ある課長は、二年間に五回移動するなど、やと業務を把握されたところ移動があり、市民からも不満の声を聞く。

②ふれあい市長室に、教育・建設・産業の三部長のみで、民生部長等への出席要請は何故しない。

③市長は、忙しいとよく言われる。それなら、お祭り振興会長等民間でも何ら問題のない兼任は辞して、政策立案に専念すべきでは。

【回答主旨】
①Aは、今後は、是正したい。C、民間でできるものは代る。

4 武雄温泉新館の改築への取り組み



武雄温泉新館の改築工事の様子。切とあるが、パックが効果的である。先生が教育用水道以上は、水道を洗う。鹿島市立明倫小、先生が教育用水道以上は、水道を洗う。鹿島市立明倫小、先生が教育用水道以上は、水道を洗う。

市街地の再開発を市長は掲げられ、一千万円をかけて計画作りもされようとしている。そして、その北部中心市街地の核となるのが、武雄温泉であり、その顔が温泉新館である。この改築なくして、再開発はできない。そこで、改築計画の進捗状況は?

【回答主旨】
秋口に、県・市・温泉会社の三者で、詰めの話し合いに入る。

【回答主旨】
①Aは、今後は、是正したい。C、民間でできるものは代る。

【回答主旨】
①Aは、今後は、是正したい。C、民間でできるものは代る。

【回答主旨】
①Aは、今後は、是正したい。C、民間でできるものは代る。



鹿島市社協が設立した「吹上荘」市はわずか1,700万円支出。



鹿島市の一時集積所は指定集積業者の敷地にあり、設置もほとんど金がかけていない。

九月補正追加事業

S-L公園遊具修理



武雄駅の南にあり、広くはないが、ロータリークラブの遊具の寄贈で、遊具については、他より多い。ここは、福祉課が管理する児童公園の位置づけである。現在設置から時間もたち、老朽化している。四十五万円を修理する。

幹線道路網の計画

市街地には、昭和三十年代に決められた、幹線道路が、四十年以上たっても、約九割以上が手が付けられていない。現実性のある計画に変えるべきと、私も含め考え人も多かったが、やっと、今回、高架区画事業の現道路と計画道路の整合性が求められるなどから、五百万円かけて見直し。

佐賀導水事業と西部広域水道の関係

九月十五日の新聞に、建設省は、佐賀導水事業が、①地盤対策の見直し、②用地交渉の遅れ、③公共事業費の抑制などの原因で、計画を完成H十四年度→H二十年

●事業費五七四億円→九九五億円に変更し、その結果、西部広水も影響を受ける記事が出ていた。

★佐賀導水事業は、簡単に言えば久留米との境である筑後川から、城原川など背振山方面から有明海にそそぐ十以上の川を横につらぬき、バルーンで有名な嘉瀬川まで、直径三mの管でつなぎ、水量管理・洪水調節・内水排除・水道水補給を目的としている。

その水道用水の水を嘉瀬川から五万六千トン汲み上げ浄化して、武雄市他、十二町に配水するのが西部広域水道事業である。



西部広水事業費	49億円+416億円
計	465億円
↓	
84億円+416億円	
計	500億円

それに伴い、当然、武雄の負担も増えるだろうが、現在未定。一方、広水の給水開始時期は、佐賀導水が六年完成が遅れるものの、巨瀬川調水池以外の配管はほとんど済み、影響は少ないと言っている。

経営事項審査 千六百点の合理性

図書館建設入札問題

武雄の町に、黒い右翼の街頭宣伝車が、連日、佐世保からやって来て、「談話を古庄市長は、放置している、責任を取ってやめろべき」という主旨の宣伝をマイク音量を上げて、やっていたので私も市民同様驚いたわけです。

その後、九月議会が始まり、一般質問があったわけですが、十四人中、一人の議員以外、私を含めて入札問題を出してなかった。いわゆる革新系と言われる人も、「証拠のないものは問えない」という方針のようだった。

◎右翼は、武雄市の代表である市長を入札談話を放置していると宣伝し、市長及び市民が、公衆の中で侮辱を受けている。市長が潔白

であるなら、告訴すべき。との主旨の質問に、古庄市長は、例のごとく長は、例のごとく

声荒げて「不正はないし、告訴はしない。告訴以上の決意をもって、今後対応する。来年度は、入札予定価格の事後公表をする。」との主旨の答弁。議員からは、告訴以上の決意とはどんなものかとのヤジもでていた。

◎指名競争入札の参加基準についての質問があり、今回の入札、参加者の条件は「地元業者と共同企業体を二社で組み、経営事項審査の点数が千六百点をどちらかの業者が持っている。」だった。

そこで、議員の質問は、国はだれもが参加できる。一般競争入札でさえ、参加資格に用いる客観的データを千五百点とし、百点単位で引き上げて良いとの指針を示しているこの時期に、何ぞ逆に百点上

東部開発問題に一定の決着!

最近の東部開発案は、オサダを中心に開発する計画となっていたが、古庄市長は、高架区画整理事業で北部市街地再開発の阻害要因になるなら推進しないとの考えであった。そこで、北部商店街などに東部開発計画内容を市の企画情報課が説明して回っていた。

今議会の他議員の説明に答えて説明会では、反対意見が多かったとの報告があった。しかし、市長は、推進しないよ

うな、発言はあるものの、中止するとはっきり言われないので、議員が何度も確認の発言をすると、市長は、声を荒げて、「大型ショッピングセンターが、北方等の周辺に今後できても、北部の商店は負けないよう努力して欲しい」と激励のかげしなにか分らないような発言だったが、議員は一応、今計画は中止と認識した。

学校給食食器が来年度やきもの!

文部省も最近、学校の焼却炉の全廃や、三十五人学級を認め、また、校長も教員以外からも登用できる方向を示すなど改革が進む。今議会、そういう流れに関係あるのか解らないが、学校の給食用食器をやきものの食器に来年度交替するとの発言で学校教育課も思い切った動きに出たと感心した。もちろん、ホリカボネート食器からは、体に害を及ぼすビスフェノールAという環境ホルモンが融け出すとの指摘もあっていた。

ところで、学校の現状は、ステルス六校・アルマイト六校・ポリプロピレン三校・ホリカーボネイト九校である。全校を来年度強化磁器にすれば、食器代二七百万円、カゴ等備置替え二九百万円、棚等の改造二九百万円が必要。

高架事業のその後

昨年十一月に「都市計画決定」といって、鉄道高架と区画整理の地区の範囲が決められた。今、九月議会では、区画整理で宅地等に移転したり、換地したり個人の財産に変化が生じるので「施行規定」というルールが定められました。

今年十一月に「事業計画書」といって、道路や水路の位置や長さや広さの確定のため、現在、地元地権者に説明会を実施されている。その中には、土地を取られる平均減歩率は約十六%とされ、松原通りが二十m幅になる。

消防格納庫の意外な実体 他議員の一般質問を聞いていて私自身、もっと議員として研究調査しないといけないと感じたのが、消防に対する武雄市と他自治体との差異である。消防活動に付帯する、出費として格納庫と制服(夏用・冬用)と長靴である。

それらの県内七市の補助状況は表の通りであり、武雄市は格納庫に十五万円の補助で、伊万里でも八十万円、佐賀・唐津・鳥栖・鹿島の四市は、全額を市が支出している。その理由は、消防法に、必要なものは自治体で整備すると明示しており、それを受けて、各市の条例等で定めているようだ。自分たちの地区は自分たちで守るのが、地区消防の原点と言う人もいるが、他市の状況を見ると大いに検討の余地がある。

格納庫	靴	服
佐賀	全	全
鳥栖	全	全
唐津	全	全
多久	全	自
鹿島	全	自
伊万里	85万円	全
武雄	15万円	自

○は夏服あり、自は自前
私が、最近、問題視しているのが、財政運営の方針である。私が鉄道高架区画整理事業に特

わかさぎ棲息不明!

私は、市が百六年から、たまごを放流している、わかさぎの生息状況を知らなかった。わかさぎは、図鑑には、二年魚と書いてあり、二年たったら死ぬのなら、湖面上ある程度、浮かぶのだから、そんな状況は見えない、昨年の冬などは、多くのわかさぎ目当てのつり客が来ていて、ある程度いると思っていた。

今回、干した結果を聞いたところ、ふなトラク二杯、こい二百匹、色こい三匹、うなぎ三匹、ブラックバス、コンテナ三箱、はや、わかさぎなどは、堰のアミの目が大きかったせい、ほとんど見なかったと言った。

前号のおわびと訂正
○誤「県道整備」正「県が農道整備」
○ほうらいは船員ではなく港灣。
○花鳥の下水路の写真は逆方向。

編集後記と今後のプラン
私が、最近、問題視しているのが、財政運営の方針である。私が鉄道高架区画整理事業に特

しかし、古庄市長になってから学校等の建設遅延が発言される。理由は、高架区画でなく市立病院が原因と言うが、五千万円の赤字は、予算一四〇億円の中で、やりくり可能な金額と思う。